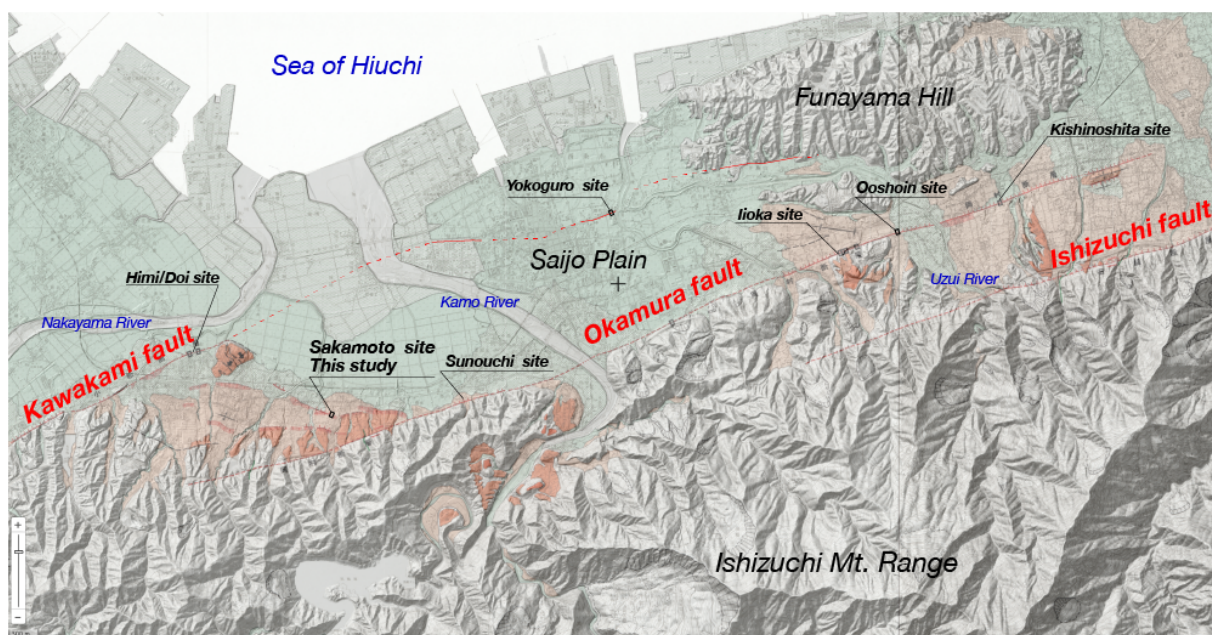
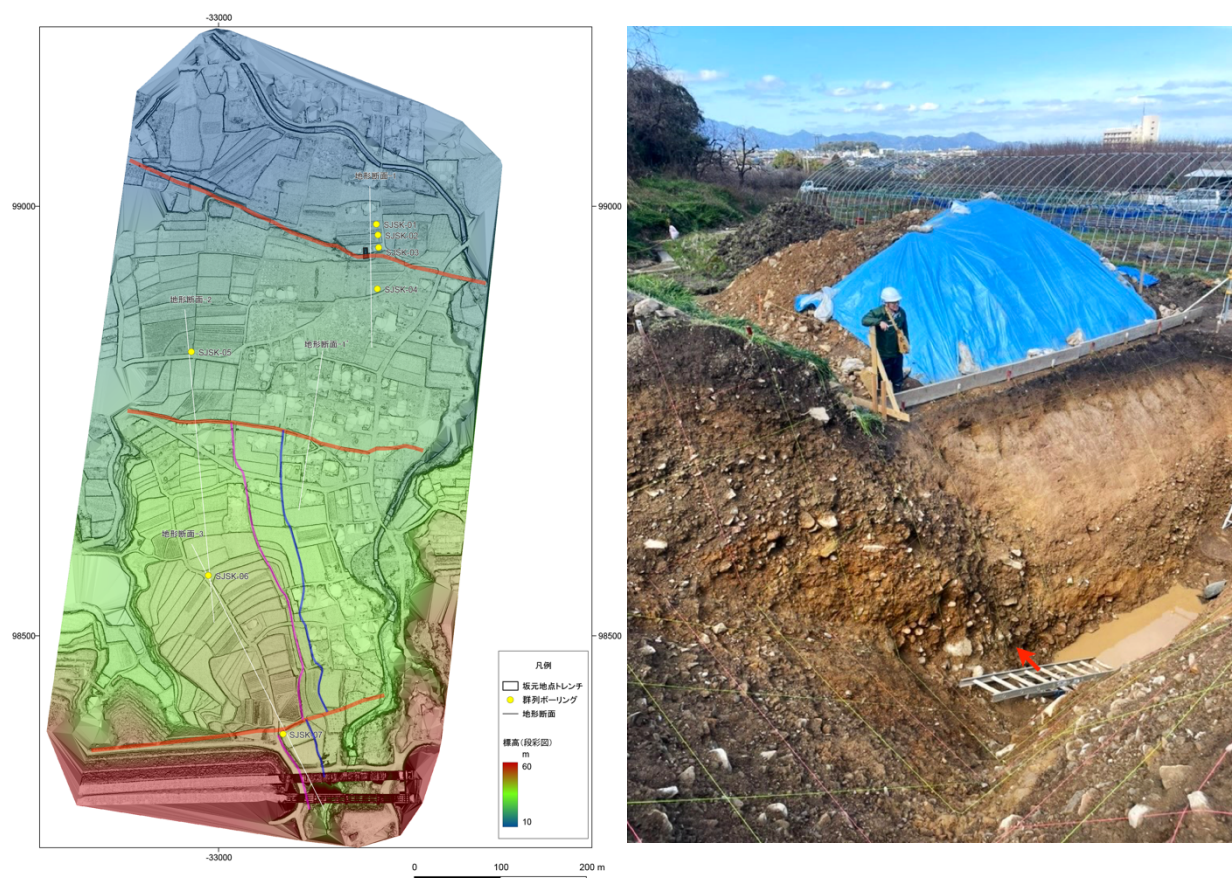


1. 1 複数回の変位履歴を復元するための活断層調査

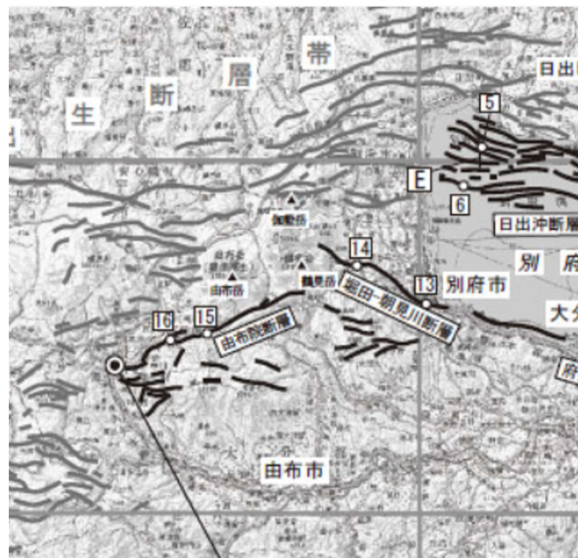


石鎚山脈北縁区間（岡村断層）と石鎚山脈北縁西部区間（川上断層）の境界付近における活断層分布。国土地理院・地理院活断層図（中田・他，1998；堤・他，1998）に加筆。



（左図）西条市坂元地区周辺のドローン LiDAR による地形陰影図。（右図）坂元地区トレンチで露出した高角北傾斜の活断層。赤矢印が活断層の位置。

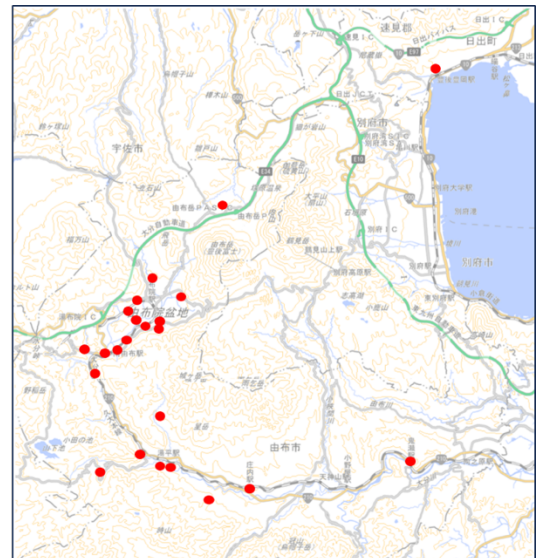
1. 2 歴史文書の収集分析に基づく地震活動の検討



中央構造線断層帯・豊予海峡―由布院区間

地震本部Web より引用 (2024 年4月13日閲覧)

https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/rs_chuokozosen/

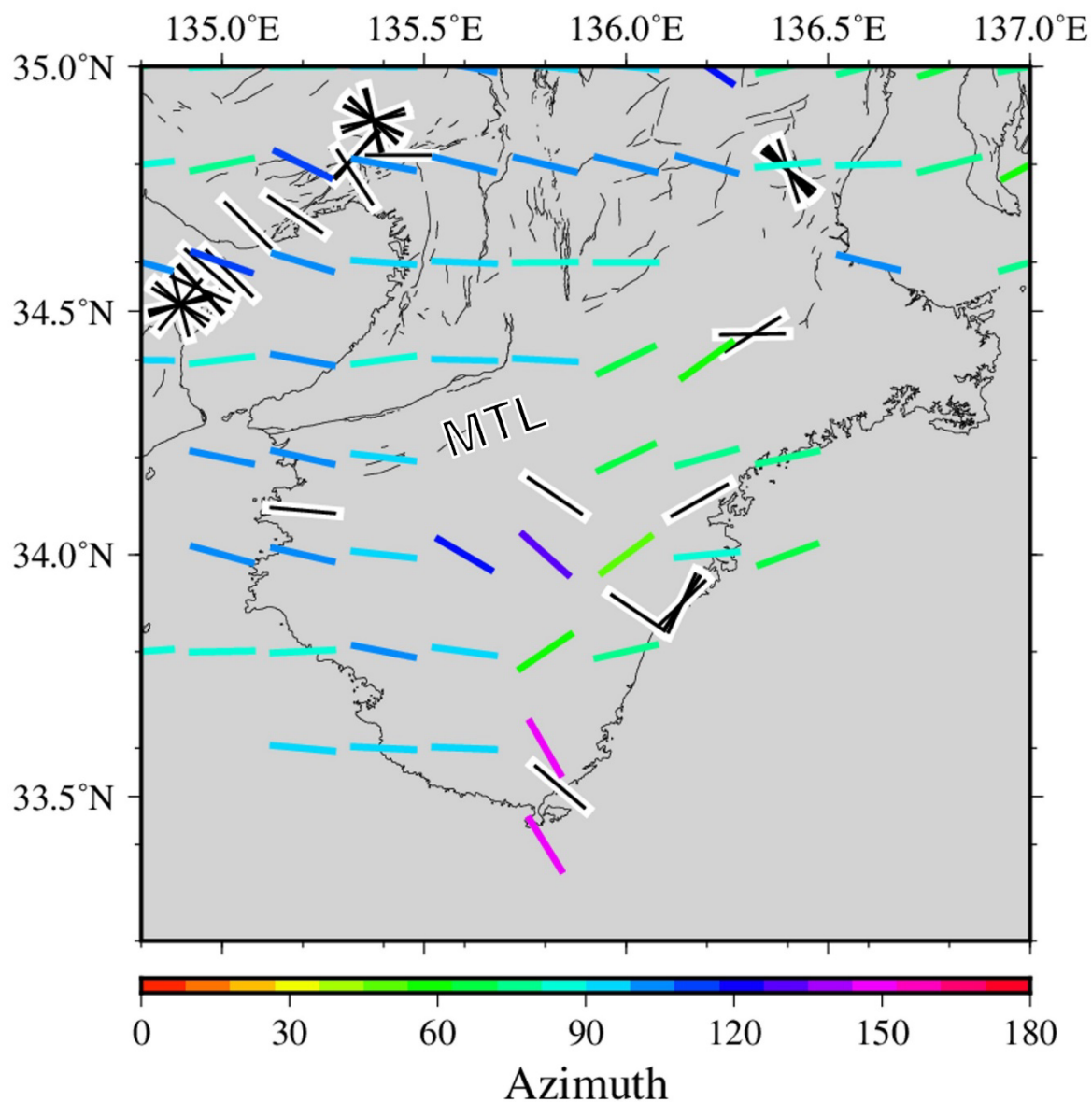


史料から判明する被害地域

都司(2019)を参考に作成

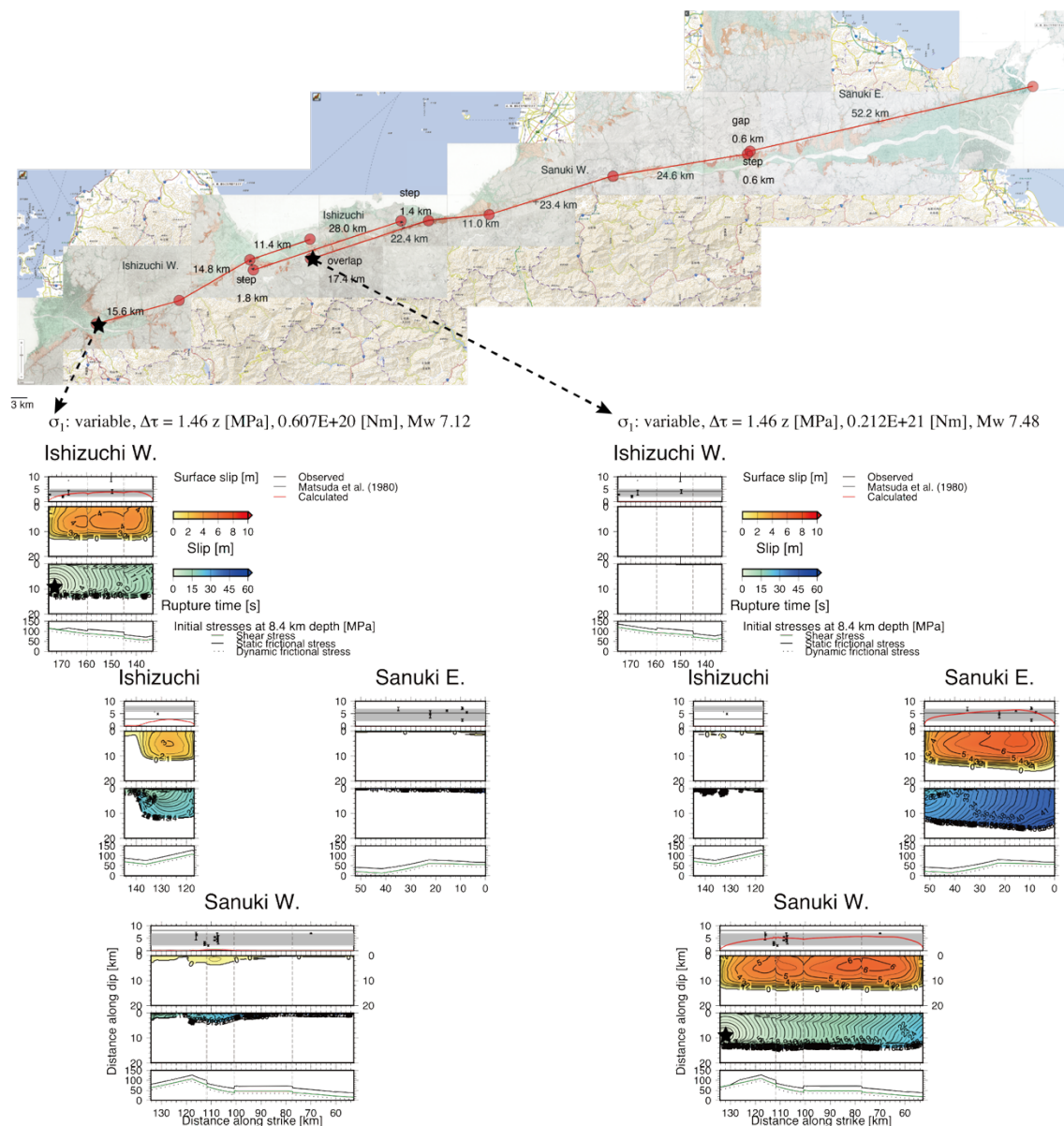
1703 年 12 月 31 日（元禄 16 年 11 月 23 日）の豊後地震の被害地域と推定される震源断層。

2 地殻応力場と震源断層形状推定のための微小地震解析



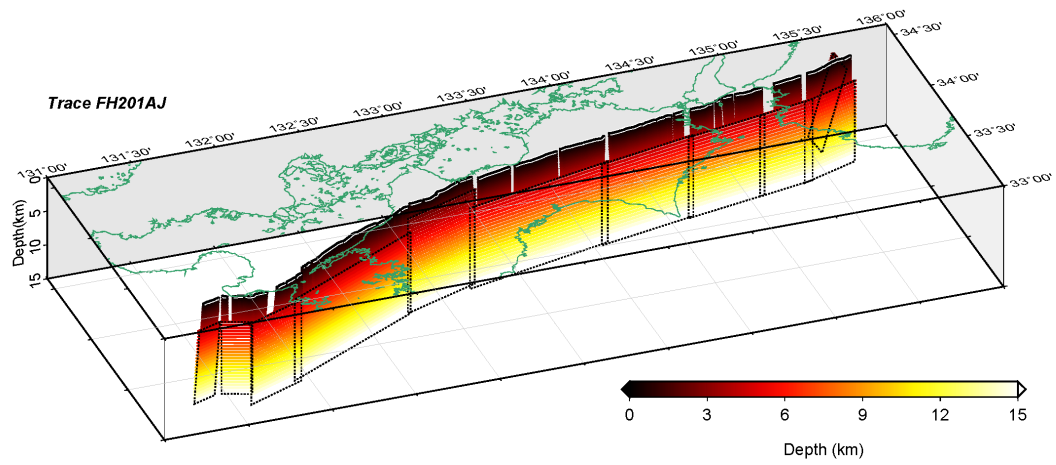
全国内陸部ストレスマップによる紀伊半島周辺の水平主圧縮軸方位の分布。中央構造線断層帯周辺では概ね東西方向に圧縮軸を持つ応力場として地殻応力場が特徴付けられる。

3 活動履歴を考慮した動的破壊シミュレーションによる連動性評価

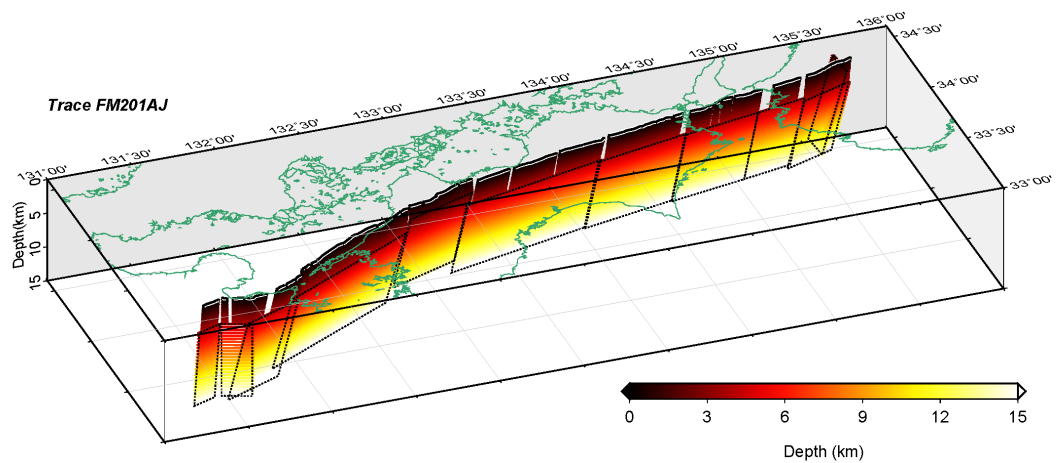


活動履歴を考慮した応力場モデルから推測される最新活動の破壊過程の例。

4 長大な活断層帯における強震動予測手法の高度化



傾斜角：高角度



傾斜角：中角度

地表断層の詳細位置をモデル化し既往の地下深部の矩形断層と接続して中央構造線断層帯全体の新たな震源断層モデルを作成した。